

2019 度 海外科学館視察研修  
実施報告

日 程 2020年2月17日(月)～2月22日(土) 4泊6日

視 察 先 アメリカ(ロサンゼルス、サンノゼ、サンフランシスコ)

参 加 者 数 9名

公 式 訪 問 先 カリフォルニアサイエンスセンター、テックインタラクティブ、エクスプロラトリウム

研 修 目 的 今回訪問するアメリカ西海岸にある3館はいずれも世界的に著名な館として多くの来場者を誘致している。それぞれに特徴的な活動をしている館を公式訪問して、館として何を目指しどのように展示を工夫し、来場者にどのようなアクティビティやプログラムを提供しているのかについて意見交換をしながら学ぶ機会を提供する。

研 修 成 果 公式訪問先とは事前に参加者からの質問事項のやりとりなどを調整した上で訪問したため、館長をはじめ、教育担当者、展示担当者などのスタッフと直接密に意見交換する機会を得た。また限られた時間での意見交換が効率的かつ有効な内容となった。州立科学館のカリフォルニアサイエンスセンターは予算の多くは州政府以外の基金で調達しており、全25年間にわたる展示計画の第3フェーズを進行中。シリコンバレーサンノゼにあるテックインタラクティブは立地やそれに伴う人員を有効的に活用した展示を体現していた。エクスプロラトリウムは、ハンズオン発祥の科学館として、その展示物製作現場など期待を上回る訪問となった。

3都市の科学館ともに、展示物製作評価プロセスの充実に刺激され、学生やボランティアなど地域社会との繋がりに重点を置き、科学を伝えることに留まらず人材育成や教育、社会や世界の変革に対する役割などビジョンの高さを実感した。また、さまざまな部署の担当者ネットワークが構築できたことで今後の活動に繋げていきたい。



左から：  
カリフォルニアサイエンスセンター、  
テックインタラクティブでの意見交換の様子  
エクスプロラトリウムでの集合写真